

令和元年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会（第2学期）報告書

- 1 日 時 令和元年 11 月 10 日（日） 10:00～15:00
- 2 場 所 日本赤十字社兵庫県支部
- 3 担 当 兵庫県立柏原高等学校
- 4 参加者 加盟校メンバー・指導者、
兵庫県青少年赤十字協議会、支部職員【計 39 名】
＜メンバー参加校＞



兵庫県立尼崎北高等学校、兵庫県立柏原高等学校、兵庫県立加古川東高等学校、
神戸第一高等学校、滝川第二中学校・高等学校、兵庫県立上郡高等学校、
兵庫県立国際高等学校、兵庫県立龍野北高等学校、【計 8 校】

5 内 容

今学期の例会では、はじめに、青少年赤十字海外支援事業スタディツアー及び第4ブロック青少年赤十字国際交流会に参加したメンバーから報告をいただきました。

その後、兵庫県教育委員会子ども多文化共生センターの小池さん（指導主事）をお招きし、「多文化共生について」や「兵庫県における外国児童生徒の現状と課題」などをお話ししていただきました。

午後からは、ペルー・ブラジル・フィリピンにゆかりのお母さんを講師としてお招きし、「外国にルーツのある児童・生徒の思いを考える」という内容でグループワークを行いました。まずは、アイスブレイクを兼ね、バースデーチェーンという方法でグループ分けをし、4名の講師から「日本で子どもたちを学校に通わせるときに経験した苦労や努力、工夫」等のお話を伺いました。次にグループ内で情報を共有し、問題点を明確にしていくことで自分たちにできることは何かを考え、発表を行いました。メンバーからは、「一言声をかけるだけで気持ちが楽になるとおっしゃっていたので一緒に交流する機会があれば声をかけようと思う。」「日本語の壁があるからこそ、日本人の私たちが積極的に海外の人に交流をしていくことが大事だと思った。」といった感想がでていました。発表後、講師としてご参加いただいたお母さん方からも講評をいただき、「こうした機会が今回で終わらず、これからへ繋がっていくことを願っています。」との感想もいただきました。



国際交流事業報告



グループワーク



多文化共生について

